

# 探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

## 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 コエルワ

【サービス名称】

コエルワ探究キット(コエタン)

【サービスの支援項目】

カテゴリー1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



教室に「社会」と「リアル」を

# cqetan!

コエルワ探究キット



# ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

## 1. サービスの概要、特徴

### (1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

コエタンとは探究授業のテーマ設定からインタビューや振り返りまで、生徒の理解度や目的に合わせた教材です。類似サービスとの違いにもつながりますが、高品質な教材提供だけに留まらず、事前に導入に向けた丁寧なコミュニケーションを行い、来年度以降も継続した利活用を促すことも企図した支援までをワンストップで提供することで、教員に負担をかけずに探究の高度化を効果的に実践する機会を提供できます。

### (2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

教材は、即時活用可能な授業スライドと丁寧な授業実施マニュアルを提供しております。マニュアルには授業の時間構成や必要な事前準備まで細かく記載しており、高校教員が外部リソースを活用しなくても総合的な探究の時間の授業を実施することが可能になります。

### (3) サービスの活用場面

総合的な学習/探究の授業を高等学校で実施する際に、教員が教材を活用。

### (4) 1サービスあたりの標準販売価格

**基本料金:** 1アカウント(月単位) 1,000円(税抜) ※生徒・先生に1人につき、1アカウント  
**導入サポート料金** アカウント数やサポート内容に応じて 10-100 万円の導入サポート費が発生します。  
**保守サポート料金** アカウント数やサポート内容に応じて 10-100 万円の導入サポート費が発生します。

## 2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

学校ごとに、専門性の高い担当コーディネーターを設置することで、総合的な学習/探究の時間の各プロセスに対応した教材のなかから、教師が自ら主体的に採用したい教材を選び、授業を実施するためのコミュニケーションを実現します。



### 特徴 学校毎に、専門性の高い担当コーディネーターを配置

- 学校ごとの担当コーディネーターは、教育業界や探究学習の専門性が高いメンバーを配置します。これによって、導入向けコミュニケーションそのものが、教員のその後の総合的な探究の時間の授業づくりに向けた研修としての効果も発揮することを期待しています。
  - 例：約10年間にわたって大手予備校 教室長を経験した人材
  - 例：総合的な探究の時間の授業開発・実施を複数の高校と実践している人材
- 教員と合意した内容をまとめた文書について、導入する教材とセットでほかの教員も閲覧可能な形で学校に対して提供することで、導入先の高校に在籍し、本サービスを担当しない教員も総合的な学習/探究の時間の授業を展開する際に活用可能な状態を目指します。

本サービスの活用によって、総合的な学習/探究の時間（以下、総探）のプロセス全体における教師の負担を軽減しながら、学校それぞれの特性にあわせた「カリキュラム全体の学びの高度化」を目指します。

### 児童生徒・教職員が抱える課題

- ① **総探の高度化に向けた、カリキュラム調整省人化**  
既存授業への新たな取り組み導入は、カリキュラム調整に多大な工数を要するため、導入自体が躊躇されるケースが散見されます。
- ② **プロセス別の教材やネットワーク提供による、教師主体での学びの高度化**  
学校ごとに強化すべき点は異なりますが、参考となる外部教材や相談ネットワークが不足しており、教師個人の力だけで学びを高度化するには限界があります。
- ③ **専門性を要する領域における指導案作成・教材研究等の授業準備負担軽減**  
専門的な指導案や教材作成は属人化しがちですが、多忙な業務や働き方改革の観点から、これ以上の準備負担を個々の教師に課すことは困難です。

### サービスが果たす役割

- ① **丁寧な導入向けコミュニケーション**により、カリキュラム調整を省人化し、探究の高度化に必要な新たな取り組みに対する導入ハードルを下げます。
- ② **総合的な学習/探究の時間の各プロセスに対応した教材のなかから、教師が自ら採用したい教材を選び、授業を実施すること**で、主体的な学びの高度化を実現します。
- ③ **高品質な総合的な学習/探究の時間の教材提供および授業支援**により、授業準備・授業時間を省人化します。

# ■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

## サービスの活用風景・授業の流れ

「コエタン」の教材から希望のテーマを選択していただき、事前打ち合わせて内容を確認しました。その後、当社によるデモ授業を行い、先生方ご自身が主体的に授業を実施できるようサポートいたしました。



想定使用 タイミング	テーマ	コンテンツ概要
序盤:理想的な探究学習の定義	よい探究とは?	学校の状況に合わせて、探究学習の目指すべき形は異なります。学校ごとの「よい探究」を定義します。
序盤:探究学習の心構えづくり	失敗をとらえ直す	失敗をポジティブに捉えるリフレーミングや、不安を乗り越える姿勢について学びます。
中盤:課題の設定・情報の収集	リサーチ・インタビュー	課題の解決を行う際には相手が抱える課題を聞き出す、インタビューが必要になります。このワークショップでは、そんなインタビューに必要な準備(質問の整理)や心構え(傾聴・共感)を、ロールプレイ等を通して学んでいきます。
中盤:情報の収集・整理	課題分析	他者や世の中の困りごとを例に、「現状と理想」「問題と原因と課題」を丁寧に分けながら、企画開発で最も重要となる「課題設定」を学んでいきます。
終盤:まとめ・表現	振り返り(すごろくワーク)	すごろくゲームの「マス目づくり」を通して長期プログラムの振り返りを行うワークショップです。チームでプロジェクトを実施してきた中で、できたことやできなかったこと、楽しかったことや大変だったことを楽しみながら振り返ることができます。
終盤:まとめ・表現	振り返り	授業の要点を示しつつ、グループでの対話を行うことを通して、長期プログラムの振り返りを行うワークショップを実施します。

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	7	学校等 教育機関数	12校
--------	---	--------------	-----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	札幌市教育委員会	札幌市立札幌大通高等学校、札幌市立藻岩高等学校	北海道	高等学校	高1～高3	総合的な探究の時間
2	北海道教育委員会	北海道北見商業高等学校、北海道斜里高等学校、北海道奈井江商業高等学校、北海道札幌南高等学校	北海道	高等学校	高1～高3	総合的な探究の時間
3	滝上町教育委員会	滝上町立滝上中学校	北海道	中学校	中1～中3	総合的な学習の時間
4	標津町教育委員会	標津町立川北中学校、標津町立標津中学校	北海道	中学校	中1～中3	総合的な学習の時間
5	北見市教育委員会	北見市立高栄中学校	北海道	中学校	中1～中3	総合的な学習の時間
6	滝川市教育委員会	北海道滝川西高等学校	北海道	高等学校	高1～高3	総合的な探究の時間
7	南幌町教育委員会	南幌町立南幌中学校	北海道	中学校	中1～中3	総合的な学習の時間

## 定量的効果検証

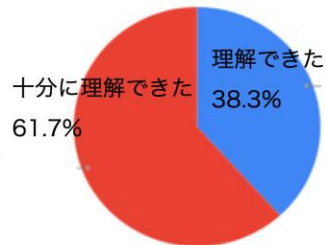
「授業の内容を理解できた」生徒は100%、「また受りたい」生徒は約96%に達しました。記述回答でも「楽しかった」「分かりやすかった」という声が多く、本教材が探究学習への心理的ハードルを下げ、生徒の主体的な学びと意欲の向上に直結したと言えます。

### 今回の授業は、理解できましたか？

アンケートの結果①|授業・教材の評価について

※生徒のアンケート回答数は合計128人。アンケート未実施の学校もある。

100 %

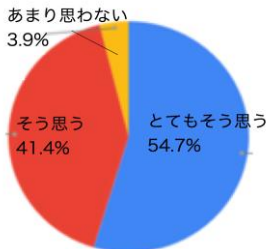


※十分に理解できた・理解できたと回答した生徒の割合

- 講話を聞いていてすごくわかりやすく話を進めるテンポもすごくちょうど良かったので、スライドを作るときに意識していること、プレゼンテーションや大勢の前で話す時に頭の中で何をどう考えて進んでいるのかを知りたいです。
- 色々なコミュニケーションの技が知れて楽しかったです。これから知らない人とコミュニケーションをとるときは質問をたくさんしたりあいづちをしてみます

### 今回のような授業をまた受たいと思いますか？

96 %



※とてもそう思う・そう思うと回答した生徒の割合

- とても分かりやすい講演で、二時間楽しみながら学べました。もし機会があればまた来てください！
- 休憩時間にお話ししたり、話の進め方が面白かったしわかりやすかったです。暑くて地獄な学校でしたが2時間笑顔になれました。

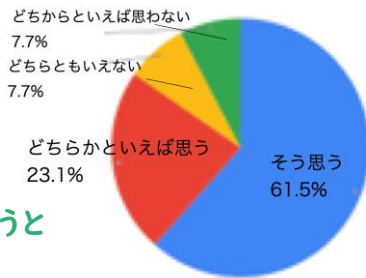
## 定量的効果検証

教員の約84%が継続利用を希望し、約76%が業務省人化を実感しました。質の高い外部教材の活用は、授業準備の負担を大幅に軽減するだけでなく、生徒の反応も良好であり、「教員の働き方改革」と「教育の質の向上」が両立可能であることを実証しました。

アンケートの結果②|授業・教材の評価について ※教職員のアンケート回答数は合計13人。アンケート未実施の学校もある。

今回のような授業を、また生徒に受けさせたいと思いますか？

84 %

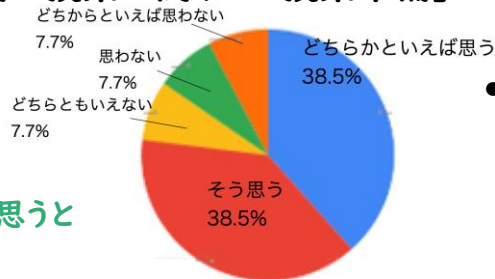


※そう思う・どちらかといえばそう思うと回答した教員の割合

- 今回のように講師の方から総合的な学習の時間の学び方を教えていただくことで、生徒の学びにはとても大きな効果があった。その後の総合的な学習の時間や他の外部の講師から学ぶ機会でも、学びを深めるような質問を投げかける場面が見られた。授業自体は、わずかな時間であったが、大変効果的な事業であった。

総合的な学習/探究の時間の授業に関する「授業準備」・「授業時間」の省人化が図れたと感じたか？

76 %



※そう思う・どちらかといえばそう思うと回答した教員の割合

- 探究学習という切り口が多角的であり、且つ深化させなければならない分野は、様々な手法により生徒に提供されることが理想的であると考えている。本サービスはまさに民間の視点による非常に高度な内容であり、生徒のリアクションもよく、探究の手法を学ぶ導入としては非常に効果的であり、また校務負担の軽減も図ることができた。

## 定性的効果検証

学校の探究授業の一部に本教材の授業を活用することで教員の省人化のみではなく、生徒の探究授業に対するモチベーションの向上の実現にもつながりました。結果として、実社会でも生きる学びにも繋がり、探究授業の高度化につながりました。

カリキュラム全体における  
コエタンの活用され方

礼儀・マナー（既存授業）

教材で授業の高度化

リサーチ・インタビュー

モチベーション  
向上に寄与

インターンシップ（既存授業）

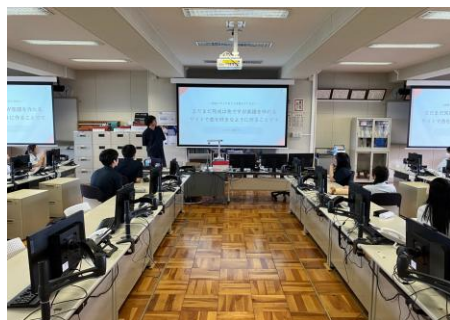
インターンシップ（既存授業）

### 生徒・教員の声①

コエタンの授業を一部活用することで先生の授業準備における省力化に加え、授業の品質の向上が生まれた。生徒からは「楽しかった」と授業を前向きに参加できたことが伝わる声が多数届き、教員からは「普段の座学だけではイメージしづらい「社会課題の解決」や「ビジネスの現場感」について、貴社の教材を通じて生徒たちが自分事として捉えられた点が最大の成果だと感じています。」などの声を頂きました。

### 生徒・教員の声②

インターンシップの事前に「リサーチ・インタビュー」の教材を導入した学校において、生徒からは「知らない人とコミュニケーションをとるときは質問をたくさんしたりあいづちをする」など、インターンシップで意識することが明確になった!といった声をもらいました。教員からは、同授業の導入の結果として、インターンシップに向けた心構えや、姿勢を例年とは違う形で十分に整えることができたなどと、導入授業以外へのインパクトも確認しております。



## 【生徒からこんな声も】

- いろんな失敗談を聞いて少し自分に自身が持てるようになった気がします！
- Aさんは、目が合う度に話しかけてくれて、とても絡みやすかったです。  
Bさんは、学生時代のことをたくさん話してくれてとても、わかりやすかったです。  
Cさんは、趣味が一緒っていうことがあって、最後には名前を覚えてくれてとても嬉しかったです。今度会ったときは、野球の話がたくさんしたいなと思いました。  
(A,B,Cはデモ授業を行ったスタッフの名前です)

次年度に向けた早期提案で導入負荷を下げ、体験会等で実施イメージを具体化します。  
さらにアンケートで教育効果を定量化し、学校側への説明力を高める改善を行います。

### 直面した課題

#### ①導入時期

授業計画が完成している時期での導入は、プログラムに興味を持っていただいても、授業計画を変更することになるため、教員にとって大きな負担となります。

#### ②実施していく中での課題

先生方が「事前に授業の流れや生徒が受講する様子を詳細にイメージできない」ため、不安に感じることがあります。

#### ③実施した結果

新たに顕在化した課題「実施した授業にどのような効果があったのか」について、学校や教育委員会の皆様に納得いただける内容でお伝えする必要があります。

### 解決するための改善策

#### ①導入時期

事前にプログラムの紹介や案内等を行うことで、検討時間を極力確保できるよう努める。

#### ②実施していく中での課題

教員用体験会の実施や、実際の授業動画の公開等を行い、生徒の受講風景や教員が授業を行うイメージを持ちやすくします。

#### ③実施した結果、新たに顕在化した課題

ワークシートなどのアウトプットに加え、生徒・先生に授業前後のアンケートへご回答いただき、変化の指数を定量化します。

## ■ 会社概要

社名	株式会社コエルワ
代表	阿曾沼 陽登
設立年月	2020年10月9日
本社	北海道札幌市中央区南一条西2丁目1-2 木NINARU BLDG. TREE BASE FD-1
資本金等	2,300万円
売上高等	非公開
従業員数	30人
事業内容	1.サマースクール/ウィンタースクールの運営 2.教育プログラム開発・デリバリー など

### ■ お問い合わせ窓口

担当: 嶋本 勇介

電話: 080-6063-5326

Mail: [info@coeruwa.com](mailto:info@coeruwa.com)